

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

9月市議会定例会報告

平成25年第4回市議会定例会は、9月4日から26日までの23日間の会期で開かれました。本定例会では、平成24年度高崎市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定議案並びに高崎市上・下水道事業会計決算認定議案、請負契約締結について（高崎公園・烏川緑地間人道橋築造工事）、高崎サウンド創造スタジオ設置及び管理に関する条例の制定について、高崎市教育委員会委員の任命同意についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

<平成24年度決算認定関係報告>

一般会計及び国民健康保険事業ほか8特別会計を合算した決算総額は、歳入が2,241億3,126万円、歳出が2,172億7,816万円で、前年度に比べ歳入が1億1,073万円（0.05%）の減少、歳出が11億8,351万円（0.5%）増加しました。

我が国の経済は、社会保障関係費が増加の一途をたどるなど厳しい状況が依然として続いています。このような中で、本市では少子高齢化の進行や産業構造の急激な変化、環境問題などに対応するとともに都市間競争を勝ち抜くため、積極的な都市運営を進めたといえます。

今後も健全財政を維持しつつ、多様な市民ニーズを的確に把握し、事務事業の合理化など効率的な執行に努める必要があります。子育て支援、特別養護老人ホームの入所待機者ゼロに向けた施設整備支援、防災対策、新体育館建設計画などの事業成果について詳細に審議し、決算認定しました。

東部公民館竣工式典・獅子舞奉納！ ～11月4日 10時から～

平成24年から整備を進めてきた東部公民館の新築工事が終わり11月4日に竣工式典が開催されます。また、当日は貝沢地域の伝統芸能である、西組・東組による獅子舞奉納もとり行われます。新しい公民館が、地域発展のために活用できますようこれからも皆さまのご協力をお願いいたします！！



九月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十四人の議員が行い、高橋みなお議員は四日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

高崎地域の副都心構想について
～問屋町・操車場跡地周辺～

質問 将来へ向けての都市戦略として、中心市街地への人・もの・情報・文化の集積と、副都心として位置づけられている問屋町地域や操車場跡地周辺を有機的に結んだ都市形成が必要であると考えますが、どのような事業展開を図ろうとしているのか。

答弁 問屋町地域は、流通・業務において中心市街地を補完し、産業や経済を支える地域として発展してきた。操車場跡地周辺は、企業進出も図られ、新駅設置の協議も始まった。本市の副都心として、中心市街地で進めている諸施策との相乗効果により、市域全体の活性化に寄与すると考えている。

質問 問屋町地域に点在する企業跡地や、未利用地を整理しての駐車場再編や公園整備についてはどのように取り組んでいくのか。

答弁 問屋町駅の設置やまちづくりルールの策定によりハード・ソフト両面から前進している。駐車場整備など課題は多いが、柔軟な土地利用を基に使いやすい対応をしていきたいと考えている。

質問 問屋町地域は、「集客都市構想」にも呼応する動きを見せ、メッセ機能を高める取り組みも具現化している。大学や福祉施設の建設でまちのイメージも変化し、建設中の展示会館も来年2月に完成予定と聞いているが、今後、行政としてどのような協力支援を考えているのか。

答弁 問屋町駅の乗降者数増加や高渋バイパス開通によりまちの位置づけはさらに高まりつつある。「ビエント高崎展示会館」は、地域を代表する施設として一層の発展が期待されるので、的確に対応した支援を行っていききたい。

質問 新駅設置には、行政の姿勢や地域住民の同意など環境整備のもと、商工会議所や地元企業と連携した取り組みが求められる。操車場跡地周辺の新駅について現状の考えとこれまでの教訓を踏まえた今後の方針は。

答弁 本地域は、区画整理事業の進捗に伴い住宅や企業立地が進み、新駅設置の条件が整ってきたことから協議を開始した。問屋町駅設置の経緯も参考にしながら関係機関と検討していききたい。

井野駅周辺のバリアフリー化推進に
早急な対応を！

質問 井野駅周辺は、送迎等を含めて朝・夕の混雑は激しく交通量の多い地区であり、早急な対策が求められている。総合計画においても「バリアフリー化に向けた検討」が継続して掲げられているが、どのような進捗状況か。

答弁 市内7駅の中でも一日あたり四千人以上の乗降客があり、非常に利用度の高い駅である。しかし、駅舎の老朽化が進み、駅前広場やアクセス道路の整備が進んでいない状況である。バリアフリー化整備の必要性については認識しており、関係団体と前向きな協議を行っていききたい。

♪ 後記 ♪

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定のニュースは、日本中に感激と喜びを伝えてくれました。「選手としてぜひ出場したいので、練習を頑張ります」と目を輝かせる中学生。「せつかくの晴れの舞台、長生きしなくてはいけませんね」と微笑む女性。オリンピック開催は、私たちに7年後の目標を考えさせてくれるきっかけと言えるのではないのでしょうか。